

日本藻類学会第 50 回大会のご案内
—つくば・2026—

日本藻類学会第 50 回大会実行委員会
大会会長：宮村 新一
実行委員長：中山 卓郎

2026年3月20日（金・祝）：評議員会，
 エクスカーション #1
 3月21日（土）：口頭・ポスター発表，
 企画シンポジウム，総会，
 懇親会
 3月22日（日）：口頭・ポスター発表，
 公開シンポジウム
 3月23日（月）：エクスカーション #2

大 会：筑波大学 筑波キャンパス 春日エリア
懇親会：Beer & Cafe Engi（つくばセンタービル1階）

2026年1月19日(月)までのお振り込み：

大会参加	6,000 円 (学生 4,000 円)	不課税
懇親会費	6,000 円 (学生 3,000 円)	消費税込み

2026年1月20日(火)から3月2日(月)のお振り込み：

大会参加	7,000 円 (学生 5,000 円)	不課税
懇親会費	7,000 円 (学生 4,000 円)	消費税込み

当日参加申込：

大会参加	8,000 円 (現金のみ)	不課税
------	----------------	-----

注1：オンラインでの事前参加登録は3月2日(月)をもって締め切ります。

注2：懇親会は事前申込のみとなり、当日参加はできません。会場の都合により、定員に達し次第、締め切らせていただく場合がございますので、お早めにお申し込みください。

注3：高校生発表者(複数・中学生以下も可)と指導教員は大会参加費免除となります。

50 回大会ウェブサイトからお願いします（近日、開設予定）。ウェブサイト内の「参加者メールアドレス確認フォーム」にてメールアドレスをご登録いただき、自動送信されてくるメール中にある「参加申し込みフォーム」のリンクから、大会参加・発表申込を行ってください。なお、高校生ポスター発表については、専用の申込用紙にご記入の上、メールにてお申し込みください。

- (2) 一般発表者（日本藻類学会会員に限ります）は、下記の要領に沿って発表要旨原稿を作成し、メールの添付書類でお送りください。発表ごとに口頭／ポスターの希望を記入していただきますが、プログラムの都合上ご希望に添えない場合があることをあらかじめご了承ください。口頭発表は1人1件とします。
- (3) 大会参加費は本大会専用のゆうちょ銀行口座へお振り込みください。口座情報については、日本藻類学会第50回大会ウェブサイトをご参照ください。なお、振り込みの際の手数料は振込人負担でお願いします。
- (4) 締め切り
発表者参加登録：2026年1月16日（金）
発表要旨原稿送付：2026年1月23日（金）
参加・懇親会登録：2026年3月2日（月）

口頭発表は2または3会場で実施する予定です。プログラムの都合上、口頭発表希望者が多い場合は、先着順とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

(1) エクスカーション #1：国立科学博物館藻類展示ツアー

国立科学博物館（東京都台東区上野公園）は明治10（1877）年を創立年とし、まもなく150周年を迎える国内最古の科学系博物館です。忠犬ハチ公の剥製や恐竜トリケラトプス（レイモンド）の骨格標本などが有名ですが、藻類の展示も充実しています。今回は、地球館1階の「系統広場」や日本館3階の「日本の海藻」などを案内しながら、常設展示されている藻類について解説をします。とりわけ、2004年に公開された「系統広場」は、イデユコゴメの模型からジャイアントケルプの実物まで120種を超える藻を巨大な生物系統樹のなかに並べた、世界でも類をみない藻類愛溢れる展示室となっています。なお、1時間程度の解説のあとは館内を自由にご覧いただけます。現地解散（途中退場可）。

日 時：2026 年 3 月 20 日（金・祝）14:00 ～ 16:00
（終了後も引き続き見学可能）

場 所：国立科学博物館（東京都台東区上野公園）

申し込み：以下のメールアドレスへお申し込みください。

kitayama@kahaku.go.jp（北山太樹）

2 月 27 日（金）締め切り、先着 40 名。

備 考：入館無料。当日の集合場所、連絡方法などの詳細はメールでお知らせします。

(2) エクスカーション #2：国立環境研究所微生物系統保存施設見学

国立環境研究所微生物系統保存施設は、多様な藻類の培養株を収集、保存、分譲を行っている世界最大規模の藻類カルチャーコレクションです。現在では微細藻類、非光合成性原生生物、シャジクモやチスジノリなどの淡水産絶滅危惧大型藻類の 4,500 株を超える培養株を保存しています。保存事業の傍ら、藻類の培養改良、無菌化および凍結保存手法などの技術開発も進めています。今回は、普段公開されていない微生物系統保存事業の現場をスタッフの解説とともにご案内します。藻類培養株の作製やその培養手法、凍結保存手法、培養株の寄託などに関する個別の質問や相談も受け付けます。現地集合解散。

日 時：2026 年 3 月 23 日（月）10:00 ～

（見学は 30 分から 1 時間程度を予定）

場 所：国立環境研究所 微生物系統保存施設（当日の入所手続きについては参加者に別途ご連絡します）

申し込み：以下のメールアドレスへお申し込みください。

suzuki.shigekatsu.gw@u.tsukuba.ac.jp

（鈴木重勝）

2 月 27 日（金）締め切り、先着 20 名。

備 考：公共交通機関で各自現地集合いただきます（最寄りバス停：関東鉄道バス・JR バス関東「環境研究所」。TX つくば駅からバスで 20 分程度）。

7. シンポジウム

- (1) 第 50 回大会を記念したシンポジウムを 3 月 21 日（土）午後に企画中です。詳細は大会ウェブサイトにてお知らせいたします。
- (2) 学術変革領域研究（A）「ジオラマ行動力学」との共催で公開シンポジウム「多様な環境に適応した藻類の生存戦略（仮題）」を 3 月 22 日（日）午後に企画中です。詳細は大会ウェブサイトにてお知らせいたします。

8. 宿泊・会場までの交通・昼食

- (1) 会場の最寄駅（つくばエクスプレスつくば駅）および、つくばエクスプレス研究学園駅の周辺に宿泊施設がございます。大会実行委員会より宿泊施設の斡旋は行いませんので、各自でお調べいただき手配をお願いいたします。

春休みの 3 連休でもありますので、お早めのご予約をお勧めします。

- (2) 大会会場のある筑波キャンパス春日エリアは、つくば駅（A1, A2 出口）・つくばセンターから徒歩で約 10 分です。つくば駅・つくばセンターへのアクセスは以下の通りです。
鉄道：秋葉原からつくばエクスプレス快速に乗ると 45 分で「つくば駅」に到着します。JR 常磐線をご利用の場合はひたち野うしく駅、荒川沖駅、または土浦駅で下車し、「つくばセンター」行きもしくは「筑波大学中央」行きのバスに乗ると、約 30 分で「つくばセンター」に到着します。
高速バス：東京駅八重洲南口高速バスターミナル発「筑波大学」行き（高速バス）に乗ると、約 70 分で「つくばセンター」に到着します。
飛行機：羽田空港および成田空港からも高速バスが運行しております。
車：大会会場には駐車場の準備がございませんのでご了承ください。

- (3) 休日のためキャンパス内の学食の営業はございません。つくば駅・つくばセンター付近には多くの飲食店がございますが、各自でお弁当を持参されることをお勧めします。



9. 発表要旨原稿の作成要領と原稿送付方法

- (1) 要旨原稿は MS-Word 形式のファイルを電子メールに添付してお送りください。
- (2) 発表者氏名、演題、本文、所属の順で記述してください（全てを含めて全角 700 文字以内でお願いします）。本文

では基本的に改行しないでください。著者校正はございませんので、十分確認した上で投稿してください。なお、フォーマット等を大会実行委員会で修正する場合があります。

共著と所属の表示：共著の場合は演者名の前に○をつけ、所属が異なるときは各著者名の後ろに上付き数字を付し、所属ごとに区別してください。所属は本文末尾の（ ）内に記入してください。

フォント：全角文字は明朝体（12ポイント）、半角文字（英字）は Times（12ポイント）を使用してください。機種依存文字は使用しないでください。

句読点：和文中では全角の「，」「。」を使用してください。学名表示：属名と形容語（種小名など）は斜体（イタリック）で表示してください。

(3) 原稿送付先：sourui2026tsukuba@gmail.com
(1月23日必着)

メール件名：
「第50回藻類学会発表要旨（発表の筆頭著者氏名）」
例：「第50回藻類学会発表要旨（筑波花子）」
ファイル名：
「発表要旨（発表の筆頭著者氏名）」
例：「発表要旨（筑波花子）」

注：発表演題および著者氏名は大会開催に先立ち、大会ウェブサイト上で公開する予定ですので、十分ご注意ください。

10. 発表形式

(1) 口頭発表

- ・1つの発表につき発表12分、質疑応答3分です（1鈴10分、2鈴12分、終鈴15分）。
- ・発表者のパソコンにつないだ液晶プロジェクターで発表していただきます。各自でパソコンをご用意ください。
- ・発表に使用する液晶プロジェクターと各自のパソコンはHDMI端子を介して接続します。HDMI端子をもたないパソコンを使用する場合は、各自で変換アダプター等をご用意ください。また、バッテリー駆動では出力が不安定になることがありますので、当日は必ずACアダプター（電源ケーブル）もご持参ください。
- ・万一来場、発表用ファイルをコピーしたUSBメモリをお持ちください。発表用ファイルに静止画、動画、グラフ等のデータをリンクさせている場合は、それらのデータもUSBメモリに保存してください。
- ・ご自身の発表時間の前の休憩時間を利用して、事前の動作確認をお願いします。

(2) ポスター発表

- ・ポスターボード（横120cm、高さ150cm）に収まるサイズでポスターをご準備ください。貼り付け用のピンは大会実行委員会で準備します。

- ・ポスターの上部には発表番号、演題、氏名（所属）を明記してください。
- ・研究目的、実験結果、結論などについてそれぞれ簡潔にまとめた文章をつけてください。また、写真や図表には簡単な説明文を添付してください。
- ・文字や図表の大きさは、少し離れた場所からでも判読できるように調整してください。

11. 日本藻類学会学生発表賞について

日本藻類学会学生発表賞選考実施要領 (<http://sourui.org/records/materials/> 日本藻類学会学生発表賞要領.pdf) に基づき、大会における学生会員の優れた研究発表に対して本賞を授与することにより、学会活動に対する参加意欲を高めることを目的として実施します。学生会員（国内・外国）を発表者とする大会での研究発表を対象とし、大型藻分野および微細藻分野のそれぞれについて、口頭発表とポスター発表を個別に表彰します。分野および発表方法を問わず、過去の受賞者の応募および受賞を妨げません。応募される方は、参加申込フォームの日本藻類学会学生発表賞応募欄にて「応募する」を選択してください。口頭発表・ポスター発表合わせて1人1件まで応募を認めます。

12. 高校生ポスター発表

高校生に藻類学諸分野の専門家や学生との交流の機会をもってもらい、関心を深めてもらうことを目的としています。なお、高校生ポスターの発表者・指導教員は、口頭発表・ポスター発表に自由に参加できます。高校生ポスター発表は、通常のポスター発表と同じ時間帯に行います。ポスター作成方法は上記の形式を参照してください。高校生発表者（複数名も可）と指導教員は大会参加費が免除されます。高校生ポスター発表申込書（MS-Word ファイル）に必要事項をご記入の上、メールにて大会実行委員会にお送りください。

送付先：sourui2026tsukuba@gmail.com（1月23日必着）

13. 託児所について

本大会では託児サービス補助を行うことを検討しておりますが、大会会場・つくば駅周辺には週末に利用可能な託児施設が限られており（特に日曜日に利用可能な施設を把握できておりません）、大会からの託児所の斡旋が困難な状態にあります。つきましては、日頃ご利用されている託児所等をご利用いただき、その利用料の一部の補助を行う等の対応を検討しております。補助をご希望される方は、2026年1月19日（月）までにメール（sourui2026tsukuba@gmail.com）にてご連絡ください。

14. 第 50 回大会実行委員会と問い合わせ先

大会会長 ：宮村 新一（筑波大学・生物学類）
実行委員長 ：中山 卓郎
 （筑波大学・計算科学研究センター）
会計 ：平川 泰久（筑波大学・生命環境系）
ほか実行委員：中山 剛，北山 太樹，田辺 雄彦，
 矢吹 彬憲，野村 真未，鈴木 重勝，
 白鳥 峻志

第 50 回大会実行委員会メールアドレス：

sourui2026tsukuba@gmail.com